

『気仙沼訪問リハビリステーション』

まんぼう通信



平成 29年 2月 1日 No.28

立春とは申しますが、まだ寒さ厳しき日々が続いております。皆様はいかがお過ごしでしょうか？ 昨年末より、宮城県ではノロウイルスやインフルエンザが流行し、大変な思いをされた方もいらっしゃるのでは・・・？今一度、うがい・手洗いの徹底により、感染症を予防していきましょう。さて、今回は事例を通して訪問リハビリテーションの関わりをご紹介します。

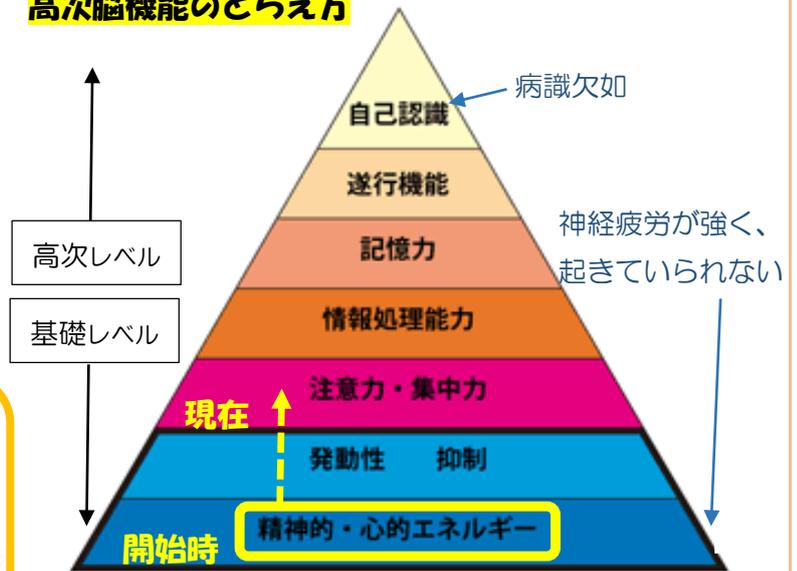
60代女性（主婦）要介護4

疾患名：アルツハイマー型認知症、正常圧水頭症
 （手術 2 回：62・63 歳、**高次脳機能障害・視覚障害**（物が 2 重に見える）あり）

既往歴：高血圧症、緑内障

リハ目的：自宅環境を整え、転倒なく、入院前の生活レベル（自立した歩行の獲得、友人らとの集まりに参加する、夫と外出する等）に近づける。

高次脳機能のとらえ方



～NY 大学、ラスク研究所 神経心理ピラミッド～
 基礎レベルが充分に働かないと高次レベルは発揮できない



退院～	生活状況（要介助か所）	歩行能力（1 本杖）	特記事項
1 か月	歩行（屋内・外）、入浴、着替え、トイレ、階段	重度介助 100m/日	リハ週 2 回（40・60 分）理学療法士のみ 転倒（居間）：顔面に皮下出血
2 か月	上記と同じ	重度介助 120m/日	転倒（玄関）：顔面打撲…手すり設置、血圧高値
3 か月	歩行（屋内・外）、入浴、着替え、階段	重度介助連続 300m	リハ週 2 回⇒3 回（40 分）へ、作業療法士追加
4 か月	歩行（屋外）、入浴、階段	中等度介助連続 400m	体重が 8 kg 増（食事がとれるようになった為）
5 か月	歩行（屋外）、階段	軽度介助 連続 500m	友人の来客や夫との外出、調理（見守り）
6 か月	上記と同じ	軽度介助 連続 1 km	4-5 日目の予定が覚えられる、 要介護 1 になる

最終目標：周囲の助けがあっても自分のスケジュールを管理する（ノートを活用し、買い物をするなど）。友人宅（1.5 km 先）へ一人で行く。体重を減らして、膝の痛みを減らす。

先月号でお伝えしました東日本大震災復興特別区域法に基づく指定訪問リハビリテーション事業所整備に関して、1 月 10 日付で新たに 3 年間の期間延長が認められました（平成 32 年 3 月末まで）。まずは地域の皆様に訪問リハサービスを提供できることに喜びを覚えると共に、在宅生活を安全・安心に過ごしていただくために、より質の高いサービスを提供できるように精進して参ります。今後ともご愛顧の程、宜しくお願い致します。

新規利用者様、募集中！

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団
 気仙沼訪問リハビリステーション
 TEL：0226-25-8323 FAX:0226-25-8324